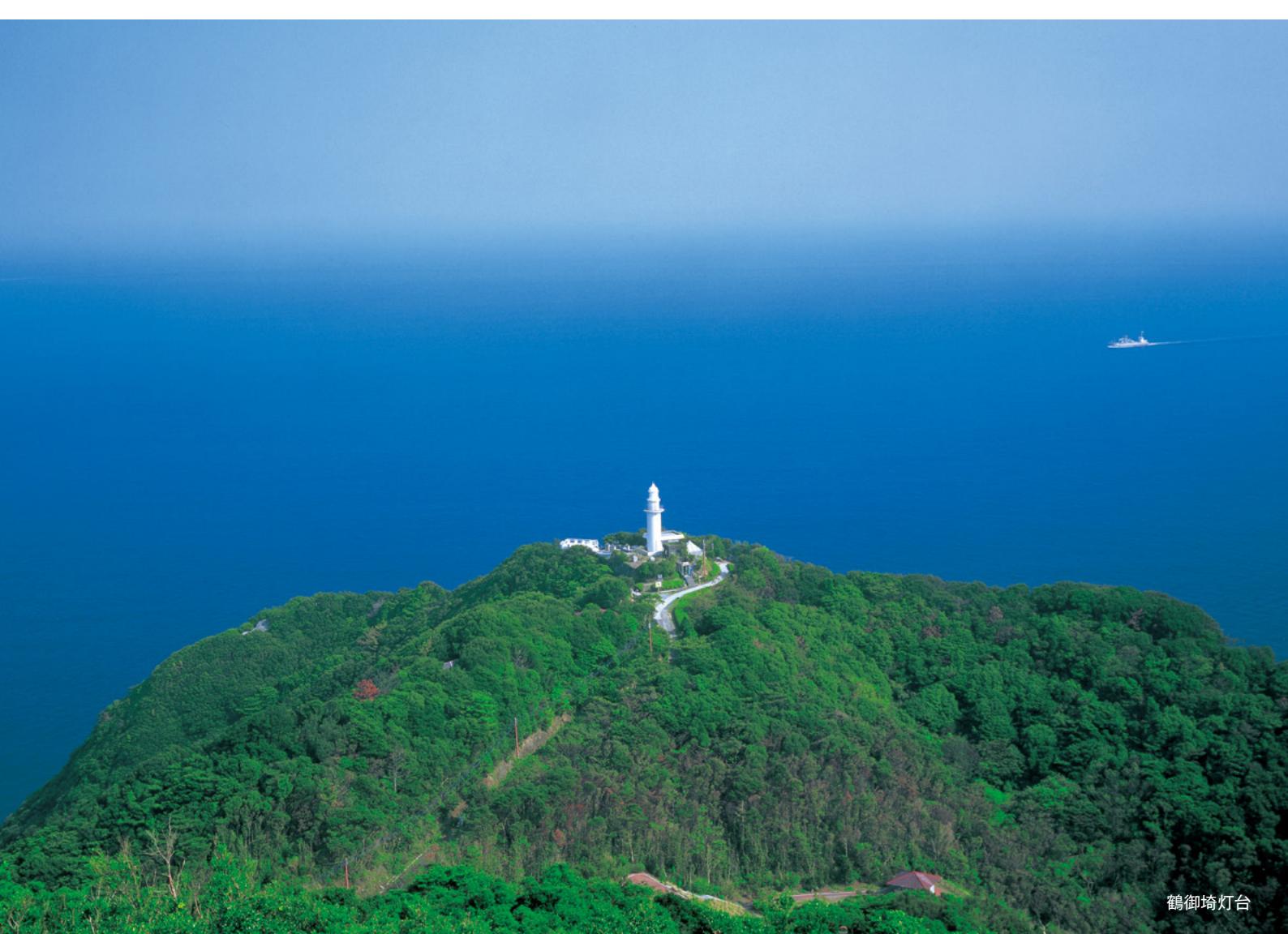


労福協ガイド

連帯と協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現



鶴御崎灯台



一般社団法人 大分県労働者福祉協議会

安心・共生の福祉社会の実現に向けて!



村田理事長

最近の私たちを取り巻く環境は、デフレ脱却・景気回復への期待感は高まる傾向にありますが、勤労・県民の暮らしの諸課題は何ら改善しておらず、労働者保護や雇用のセーフティーネットの強化、社会保障制度の機能強化などの政策は後退し、雇用・労働の劣化や貧困・格差の拡大が懸念されています。

労福協運動の任務は、日常活動を通じて勤労者・県民の諸課題の解決に懸命に取り組み、皆さん、「共感を呼ぶ・福祉運動を創造する」ことにあります。大分県労福協は、社会的な信用と認知度を高めるために、これまでの歴史的活動を礎に2010年4月1日に法人格を取得し、「一般社団法人大分県労働者福祉協議会」となりました。今後、私たちは大分県労福協の目的と事業内容をしっかりと見据え、会員組織は勿論、広範な諸団体とも連携を強固にし、勤労者・県民の目線に立った労福協運動を果敢に展開してまいりたいと思います。少しでも労福協運動に関心をもって貰える様々な方に、この“労福協ガイド”をご覧いただき、大分県労福協の活動内容と魅力についてご理解を賜れば幸いです。

大分県労働者福祉協議会

所在地

〒870-0035
大分市中央町4丁目2番5号 全労済ソレイユ 6F
TEL 097-533-1106
FAX 097-533-1174

設立

1960年2月

概況

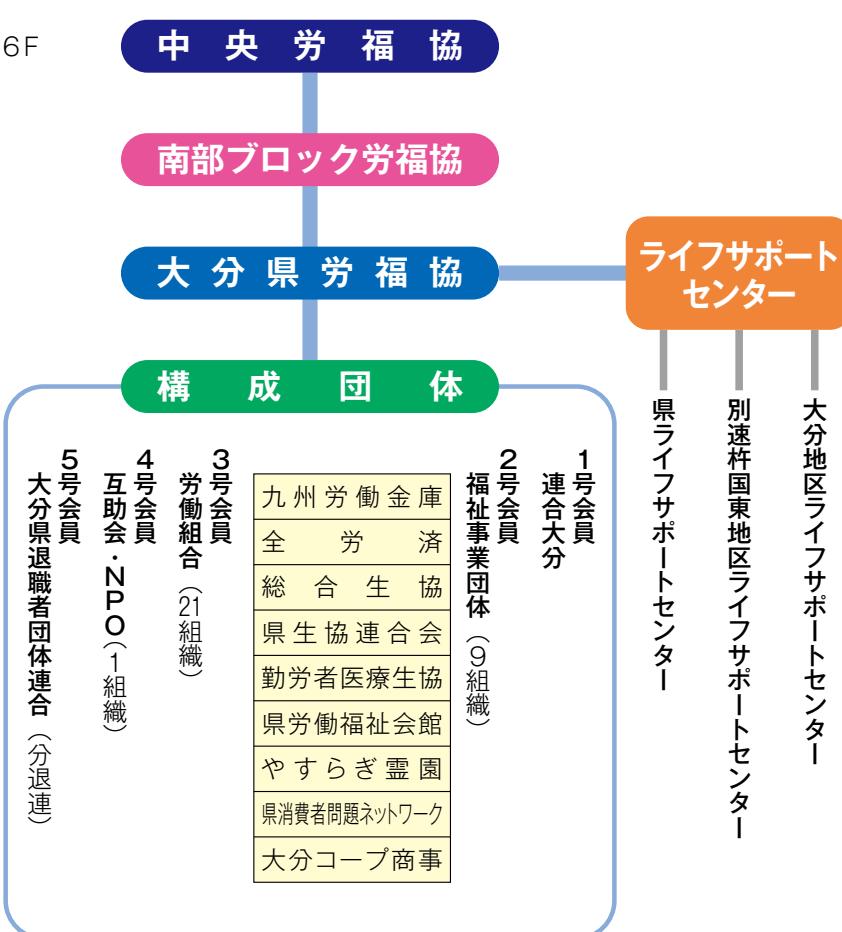
2014年9月現在
会員団体：1号会員から5号会員まで
地区労福協：県内に8労福協を設置
構成員：約50,000人
役員：理事25名（内専従2名）、監事3名

労福協のシンボルマーク



このマークは『人』という漢字をデザイナ化したもので、簡潔で親しみやすさが重視され、中の輪は人と人の『和』を表している。

組織機構図



連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくるため、 新たな一歩を踏み出そう！

◆ 理念・原則

●労福協の理念、めざすべき社会像

中央労福協・第61回定期総会（2013.11.29）

「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！」

- ◆連帯（協同）経済の領域の拡大～市場の暴走を抑制する役割
- ◆人と人とのつながり・絆が大切にされる、ぬくもりのある社会
- ◆貧困や社会的排除を許さず、参加が保障される社会
- ◆労働を中心に様々な社会サービスをつなぐ支援型福祉
- ◆お金やGDPでは測れない価値の重視
- ◆環境に優しい持続可能な社会

●県労福協の目的

当法人は、大分県内において勤労者福祉を増進するための事業を行い、勤労者の生活安定と経済的・社会的地位の向上に寄与するとともに、勤労者の消費生活に対する意識を高揚させ、勤労者の生活向上を図ることを目的とする。

（県労福協定款第3条）

●県労福協の事業

当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。（県労福協定款第4条）

- (1) 労働団体や勤労者福祉事業団体等による勤労者福祉活動の連絡調整及びその推進に関する事業
- (2) 地域における勤労者福祉活動の推進並びに地域コミュニティーの充実に関する事業
- (3) 社会保障や勤労者福祉等に関する調査・研究と啓発に関する事業
- (4) 国及び地方自治体の勤労者福祉施策等に関わる政策・制度の要求に関する事業
- (5) 勤労者の福祉の向上と消費生活に関する講演会及び研修会に関する事業
- (6) 勤労者の福祉の向上及び消費生活情報の提供に関する事業
- (7) 勤労者の消費生活等に関する相談事業
- (8) 勤労者の教育・文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア活動に関する事業
- (9) 外国諸団体と友好親善を深めるための国際交流に関する事業
- (10) その他、この法人の目的達成に必要な事業

◆会員組織・団体の事業紹介

◆労福協に集結する福祉事業団体と連合大分

日本労働組合総連合会 大分県連合会（連合大分）

連合は、めざす社会像として「働くことを軸とする安心社会」を提唱しています。「働くこと」に最も重要な価値を置き、誰もが、公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立し、相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティーネットが組み込まれている参加型の社会としています。

2009年の政権交代によって、この「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、種がまかれ、芽を出してきたものが多くあります。連合は、すべての働く者の幸せを実現するための取り所でなくではありません。果実が実るまで、大きく育てていくために、その先頭に立って行動し、未来を切り開く存在でなければなりません。

どのような政権の枠組みになろうとも、連合は、連合の綱領に掲げている「力と政策」の真価、すなわち、政策を実現していく組織的なパワーと連合運動への求心力を基盤に、安心・安全の社会実現に向けて運動を展開してまいります。

九州労働金庫大分県本部

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼にこたえます。

大分県総合生活協同組合

大分県総合生協は1960年に創立し、1963年に住宅事業、1968年には旅行センターが発足し、営利を目的としない生協として、組合員の暮らしに「安心」と「ゆとり」をお届けしてまいりました。

住宅事業では、戸建てやマンション建設を含め4,100戸の住宅を建設し、現在は、大分市寒田の「藤の香通り」ならびに「かたしま台団地」の分譲と、「京が丘団地」建売住宅1棟を販売しています。また、リフォーム事業も行っています。

旅行事業では、切符の手配や宿泊予約等を中心に、団体旅行や会議・研修会などの多種多様な企画をご提供しています。

また管理部門では、中央パーキングを運営し、大分市中心市街地の共通駐車券の参加店となっています。月極契約、時間貸のほか割安なプリペイドカードも販売しています。

全労済大分県本部

理念

全労済の最上位概念として、変わらぬ価値観、事業運営における基本的な価値・態度・信条として位置づけます。私たちはこの理念を基本にして活動を展開しています。

組合員の皆さんと共有すべき全労済の変わらぬ価値観です。

信条

理念実現に向けた全労済役職員の行動規範です。

組合員の全労済

私たちは、組合員の暮らしを何よりも大切にし、組合員の参加をひろげ、組合員とともに歩み続けます。

正直な全労済

私たちは、正直さを大切にし、組合員や地域社会からの信頼に応え、社会の発展のために行動し続けます。

努力の全労済

私たちは、たすけあいの心を大切にし、全労済にかかるすべての人の満足に向け、努力し続けます。

一般社団法人 大分県労働福祉会館

2012年6月より社団法人から一般社団法人に移行認可を受けた大分県労働福祉会館は、大分駅より徒歩10分、オアシスひろばとペデストリアンデッキ（立体歩行者専用道路）で繋がった7階建ての『全労済ソレイユ』の管理・運営を行っています。

「全労済ソレイユ」では県内の労働者の福祉事業に資する事業として、少人数から250名程度まで収容できる貸会議室が14室（洋室10室・和室4室）あり、会議・研修・会食・宴会・パーティー・記念式典・披露宴などさまざまなイベントに安価な料金でご利用いただけます。

また、初盆のかご盛、祝事・仏事の生花を年中無休で承っており県内だけでなく、全国に対応しております。

大分県生活協同組合連合会（県生協連）

大分県生活協同組合連合会は、1955年11月に当時の臼杵生協、津久見生協、杵築生協で設立して、大分県知事の許可を得た消費生活協同組合法による生協法人として発足し、現在では、地域生協（コープおおいた・日田市民生協・グリーンコープおおいた）と職域生協（学校生協・高校生協・大学生協・県職員生協・自治労信販生協・総合生協）と医療・福祉生協（勤労者医療生協・県医療生協・福祉生協）の12生協が加盟し、その組合員数は47万人であります。

県生協連は、“平和とよりよいくらし”を求める広範な人たちがお互いに力を寄せ合い協力しながら、平和な社会づくりと一人一人の豊かな暮らしのためにつくられた消費者の自主的な組織であるという生協運動の理念に基づき活動を行っています。

大分県勤労者医療生活協同組合

勤労者医療生協は、1981年、労災・職業病や公害疾患の患者の多くが制度的に放置されていた時代に、県下の労働団体が中心となり、被災患者の救済と広く勤労者の「いのちと健康を」守る皆として設立され、大分協和病院と佐伯診療所を中心に医療と介護・福祉事業にも取り組んでいます。「じん肺」や「振動病」等の労災職業病やヒ素中毒など公害病の検査、治療、予防活動に取り組んできました。現在では、地域医療の実践とともにストレス社会の中で深刻となっているメンタルヘルス疾患、筋萎縮性側索硬化症（ALS）など難病医療にも取り組んでいます。また、産業医活動や職場健診の実施とともに、地域、労組などの健康学習会などにも取り組んでいます。

大分県退職者団体連合（分退連）

大分県退職者団体連合（分退連）は、1992年に「退職者・OBが安心して、平和で豊かな高齢者生活を実現するための諸活動を行う」ことを目的に結成されました。現在、15組織14,162名の会員が、県下の4か所の地域協議会の中にある、8地区的地区退職者団体連合に所属し、各地域で高齢者のための学習会や研修会、会員相互の親睦を深めることを目的としたレクリエーション活動を行っています。

これからも現・退一致で、連合が取り組む「働くことを軸とした安心社会の実現」と退職者連合がめざす「社会保障制度を充実し安心して心豊かに暮らせる社会の実現」をめざし、様々な活動を行っていきます。

適格消費者団体・特定非営利活動法人 大分県消費者問題ネットワーク

大分県消費者問題ネットワークは、2008年1月に弁護士・司法書士・消費者団体が中心となって、消費者被害の防止・救済を目的に特定非営利活動法人の大分県知事の認証を受けて、大分市と別府市に消費者被害110番の相談事務所を設置し、専門消費生活相談員による消費者被害の相談に応じる活動や、講演会・出前講座を行ってきましたが、2012年2月に今は消費者被害の差止め請求を被害者に代わって行うことのできる適格消費者団体として九州では初めて、全国で10番目の認定を内閣総理大臣から受けました。

これからは、被害者に代わって集団的消費者被害回復訴訟制度を目指しており、そのことが実現すれば事業者に対する損害賠償を被害者に代わって訴えることができます。

消費者トラブルで困ったら、ご相談ください。

公益財団法人 やすらぎ霊園

公益財団法人「やすらぎ霊園・竹中墓地」は、1998年12月に花と緑に囲まれた公園墓地として、連合大分に加盟する労働組合と総合生協からの寄附により設立され、2011年6月には公益財団法人の認定を受けて、永代に亘って安心してお任せいただく管理体制を整えています。

2012年8月には従来の規格墓墓地・自由墓墓地・納骨堂に加えて、豊後梅や花水木等好きな樹木の傍に眠る「樹木墓地」、広々とした緑の芝生に整然と墓石が並ぶ「芝生墓地」等綺麗な庭園墓地を新たに造成して、各種墓地を取り揃えた墓地総区画2,084区画の公益霊園となりました。

2013年末現在、836区画（41.1%）が契約済となっています。

大分コープ商事株式会社

大分コープ商事株式会社は、大分県総合生協の住宅事業を補完する会社として1983年（昭和58年）に設立されました。

その後、大分県総合生協のマンション事業進出に伴い、マンション管理業務及びメンテナンス業務を始めました。現在は、次の事業を主として行っています。

- マンション管理業務
- メンテナンス業務
- 建設工事に関する資材、機器、製品の購入及び販売する事業
- 駐車場の管理業務
- 損害保険代理業務

NPO法人 大分県勤労者安全衛生センター

1970年代前半までの高度経済成長の中で、新幹線や高速道路建設の工事現場を人的に支えていた出稼ぎ労働者の多くがじん肺や振動病などの労災・職業病に罹患していました。1977年、大分県労働組合評議会（県労評）は、未組織労働者の労災・職業病被災者救済のために「大分県労働安全衛生対策協議会」を結成し、じん肺や振動病などの被災者支援と救済活動を行いました。

この後、1981年に社団法人大分県勤労者安全衛生センターとして認可団体となりました。発足当時から大分県勤労者医療生活協同組合と協力関係を持ち、組織労働者のメンタルヘルス問題や職場環境改善など幅広い安全衛生活動に取り組んでいます。2014年9月から特定非営利活動法人（NPO法人）に移行して活動を続けています。

連合大分・各団体と手を携えて、福祉運動の充実・強化に努めています！

◆県労福協の活動内容

2010年4月に一般社団法人大分県労働者福祉協議会の法人格を取得し、大分県労福協運動の50年の歴史の踏襲を基本に、種々の活動の具体化に取り組んでいます。

具体的には、①構成組織との連携強化②行政に対する政策・制度要求③介護・子育て支援④社会貢献活動⑤暮らしの総合支援（ライフサポート）⑥人材育成・教育活動⑦各種研修会・スポーツ活動の実施⑧多重債務への対応⑨会員拡大⑩中小企業労働者福祉サービスセンターとの連携等の活動を中心に事業展開を行っております。

一般事業

◇情報紙「福祉ひろば」

情報紙「福祉ひろば」の隔月毎（奇数月）に発行し、県労福協活動状況及び各福祉事業団体等の活動実態・事業計画等を掲載しています。

◇福祉研修会

会員を対象にした研修会を年1回開催しています。2013年度は大分協和病院の則行英樹副院長を招き、「ホントはこわいヨ！高血圧～寝たきり病から身を守るために～」と題して講演を行いました。



(2013年11月19日)

◇リーダー育成研修会

会員内外を対象に地域や職場でのリーダーを育成するためのリーダー育成研修会を開催、講師にTBS元報道局経済部記者の大鶴史朗さんを招き、「ニュースの裏側を知ろう」と題して講演を行いました。



(2013年8月17日)

◇労働者福祉研修会

会員内外を対象にした研修会を全労済大分県本部と共に開催、今回は二部構成で行い、第一部講師に新日鐵住金釜石労働組合・組合長の三浦一泰さんを招き、「東日本大震災を経験して、今、伝えたいこと」と題して講演を行いました。第二部講師に危機管理教育研究所代表・危機管理アドバイザーの国崎信江さんを講師に迎え、「東日本大震災から学ぶ防災対策」と題して講演を行いました。



(2014年2月23日)

◇スポーツ（レク）活動

会員を対象とした第42回スポーツ大会（ボウリング）を実施しました。

公益福祉事業

◇ライフサポートセンター

●概要紹介

ライフサポートセンターは勤労者・市民・退職者が生涯にわたって充実した生活が送れるよう、各種の支援活動を行っていく組織として、連合大分・大分県労働者福祉協議会を中心に福祉事業団体が協力して設立したセンターです。現在、大分県内に2つの地区センター（大分地区・別速杵国東地区）と県センターを置き、地域の皆さんの様々な悩みを電話と面談による初期相談を行っています。

《大分地区ライフサポートセンター》

〒870-0035 大分市中央町4-2-5
(全労済ソレイユ6階)

☎097-538-3155

《別速杵国東地区ライフサポートセンター》

〒879-0904 別府市南荘園町1組
(別府地区労働福祉会館)

☎0977-26-3155

《県ライフサポートセンター》

〒870-0035 大分市中央町4-2-5
(全労済ソレイユ6階)

☎097-538-3211

●利用時間

□月～金曜日の9時～17時（祝日を除く）

□消費生活相談員の常駐日

別速杵国東地区 月・水・金曜日 13時～16時

大分地区 火・木曜日 13時～16時

●相談料

無料（専門家に相談する場合は別途料金がかかる場合があります）



リーフレット



ポスティングチラシ

◇文化講演会

2013年度文化講演会を開催しました。今回は講師に江川紹子さん（ジャーナリスト）を招き、「私の取材ノートから」と題して講演を行いました。



(2013年11月4日)

◇文化教室

年1回、懐かしのシネマを16mmフィルムで無料上映しています。

◇食と文化・健康教室（ウォーキング）

第3回食と文化・健康教室（ウォーキング）を臼杵市（二王座・臼杵城址界隈）において開催しました。



(2013年10月27日)

◆地区労福協の活動紹介

労福協活動の中心のひとつは、地域・地区であり、顔の見える地区労福協運動を展開中です！

地区労福協は、県内に8つ設置しており、勤労者のための自主福祉運動をはじめ、種々事業活動が自立的に展開されています。

◇中津地区労福協

所在地

〒871-0033 中津市京町1524番地
新博多町交流センター
☎0979-25-3355 FAX 0979-25-3469

●活動内容

- ・みかん狩り
- ・ボウリング大会
- ・会員学習会（職場のメンタルヘルス不全とうつ病）



ボウリング大会



会員学習会

◇宇佐高田地区労福協

所在地

〒879-0455 宇佐市大字閣437-1
☎0978-33-5055 FAX 0978-33-5075

●活動内容

- ・宇佐高田労福協施設利用「補助券」
かんぽの郷（プール券・温泉券）…………宇佐市
花いろ温泉券……………豊後高田市
- ・ボランティア（宇佐市障がい者レクリエーション大会）



◇別速杵国東地区労福協

所在地

〒879-0904 別府市南荘園1組
別府地区労働福祉会館
☎0977-21-7155 FAX 0977-21-7505

●活動内容

- 〈公益事業〉
- ・少子化対策「koikatukonkatsu交流会」2回開催
- ・地区会員・一般労働者学習会
- ・地区メーデー協賛
- ・ライフサポートセンター事業
- 〈会員向け事業〉
- ・春・夏休み向け格安チケットの斡旋
- ・家族参加型レクリエーション等（子供の物づくり体験）
- ・学習会
- ・地区会員交流事業



koikatukonkatsu交流会



家族参加型事業（物づくり体験）

◇日田玖珠地区労福協

所在地

〒877-0012 日田市淡窓町2-4-36
☎0973-22-0505 FAX 0973-22-0505

●活動内容

- ・防災セミナー（6月）
- ・住みよい玖珠九重と人権を考える学習会（10月）
- ・ボウリング大会（1月）



防災セミナー



ボウリング大会

◇臼杵地区労福協

所在地

〒875-0041 臼杵市大字洲崎81-1
☎0972-63-7855 FAX 0972-63-7879

●活動内容

- ・学習会（地区会員対象）
- ・公益福祉事業（ウォーキング大会・臼杵市）
- ・ミニバレー大会・囲碁・将棋大会



ウォーキング大会（臼杵市）



囲碁・将棋大会

◇佐伯地区労福協

所在地

〒876-0841 佐伯市来島町6-5
☎0972-22-3755 FAX 0972-22-5515

●活動内容

- ・文化体験（「日本の青空」映画上映会）
- ・職域対抗ミニバレー大会
- ・文化講演会（ホントはこわいヨ！高血圧）
- ・トリニータ応援バスツアー
- ・野球観戦ツアー



福祉研修会



ミニバレー大会

◇豊肥地区労福協

所在地

〒879-7131 豊後大野市三重町大字市場
1436-1
☎0974-22-7355 FAX 0974-22-7577

●活動内容

- ・ウォークラリー（4月）
- ・ボランティア活動（10月・11月・3月）
- ・ミニバレー大会（11月）
- ・ボウリング大会（11月・2月）
- ・フラワーセラピー（12月）
- ・福祉研修会（1月）



フラワーセラピー



福祉研修会

◇大分地区労福協

所在地

〒870-0035 大分市中央町4-2-5
全労済ソレイユ6階
☎097-533-5655 FAX 097-533-5658

●活動内容

- ・ミニ・バレー大会（8月開催）
- ・ボウリング大会（9月開催）
- ・家族リフレッシュデー（10月開催）
- ・地区ライフサポートセンター事業（各種相談事業の実施）



ミニ・バレー大会



家族リフレッシュデー

◆労福協のあゆみ紹介

中央労福協関係

1949年

戦後の食料・生活物資不足の中、労務加配米の増配、作業衣服の確保、木炭の払い下げなどの要求をかけて闘ってきた。各単産や総同盟、産別会議、全労連、日協によって「労務者用物資対策中央連絡協議会（中央物体協）」が結成された。

1950年

中央物体協を「福祉対策中央協議会」と改め、単産および単産の上位組織の枠を超えて、広く労働者福祉活動の前進をはかる組織とした（今日の中央労福協の前身として発足した）。

1964年

「労働者福祉中央協議会」（中央労福協）と改称し、労働組合と協同事業団体が統一した組織体として今日に至る。

県労福協関係

1958年

大分県労働者福祉協議会：結成準備会発足

1960年

大分県労働者福祉協議会結成

1969年

労働者福祉大分県集会を開催（1980年代後半から「福祉研修会」改称）

1970年

政策・制度要請書：木下知事に提出

1972年

県労福協第1回体育祭を開催

1973年

大分県勤労者創作美術展（労美展）第17回より主催者団体（県・労政協会と共に）

1976年

自主福祉運動の強化中期路線を福祉大分県集会に提案

1985年

県労福協第1回定期総会開催（代議員制の総会方式に移行開始）

1987年

県労福協第2回定期総会開催（地区労福協の組織化方針を決定）

1990年

県労福協第5回定期総会開催（連合大分結成に伴う、地区労福協の組織整備決定）

1995年

県労福協第10回定期総会開催（総会終了後、県労福協結成35周年記念式典・祝賀会を開催）

1996年

大分県と「仕事と家庭の両立推進対策事業」の委託契約書を締結（ファミリーサポートセンター設立に向けた準備開始）

1999年

県労福協第14回定期総会開催（自主福祉運動の強化中期路線の見直しを決定）

2000年

県労福協第15回定期総会開催（総会終了後、県労福協結成40周年記念式典・祝賀会を開催）
「県労福協結成40周年記念誌：あゆみ発行」「記念海外視察：福祉の旅・16名がスペイン・モンドラゴン生活協同組合へ」

- 2001年** 県労福協結成40周年記念スポーツ大会（種目：ミニバレー・ボーラー）
県労福協先進地視察：茨城県日立市（ファミリーサポートセンター）
県労福協先進地視察：新潟県上越市（ファミリーサポートセンター）
- 2002年** 大分ファミリーサポートセンター事業開始
- 2003年** 県労福協先進地視察：長野県上田市（ファミリーサポートセンター）
- 2004年** 県労福協先進地視察：栃木県栃木市（ファミリーサポートセンター）
- 2005年** 別府ファミリーサポートセンター事業開始
- 2006年** 大分地区ライフサポートセンター：設立検討委員会・作業部会を設置
(2007年10月作業部会答申：2007年11月設立を確認)
- 2007年** 県労福協先進地視察：連合山口（ライフサポートセンター）
大分地区ライフサポートセンター開設（全労済ソレイユ：消費者被害110番を併設）
- 2008年** 別府杵国東地区ライフサポートセンター：設立検討委員会を設置
別府杵国東地区ライフサポートセンター開設（別府地区労働福祉会館：消費者被害110番を併設）
- 2009年** 大分県勤労者創作美術展（労美展）を廃止（第52回で終了：3月）
県労福協第24回定期総会開催（県労福協公益法人化：作業開始を決定）
- 2010年** 県労福協結成50周年記念スポーツ大会（種目：ボウリング）
県労福協結成50周年記念式典・祝賀会を開催「3月13日」
- 

結成50周年祝賀会（2010年3月13日）



法人格取得・設立総会（2010年3月13日）
- 県労福協結成50周年記念誌：あゆみ発行
県労福協結成50周年記念文化講演会（大爆笑寄席）（連合大分・県民共済会との共催）
県労福協「一般社団法人大分県労働者福祉協議会」新組織設立総会（旧大分県労福協解散）
県労福協「一般社団法人大分県労働者福祉協議会」大分地方法務局法人格取得登記申請
2010年6月より、新たに公益福祉事業として、文化講演会、文化教室等に取り組んでいます。
- 2011年** 県労福協第3回定期総会開催（組織の充実・強化と地区労福協の活動の活性化を決定）
「連合大分第10次友好訪中団」派遣（9月6日～10日）
- 2012年** 県労福協第4回定期総会開催（会員・会費見直しを決定）
2012年国際協同組合年（大分県記念集会 9月12日開催）
- 2013年** 中期ビジョン策定委員会設置（大分版 労福協将来像）
- 2014年** 県労福協第6回定期総会開催（大分県労福協中期ビジョンを決定）
勤労者研修会（全労済大分県本部と共に、3.11東日本大震災を教訓にして忘れないために日頃の災害・防災に役立つ研修会を2月23日開催）
(第一部) 講師：新日鐵住金釜石労働組合・組合長 三浦一泰氏
演題：東日本大震災を経験して、今、伝えたいこと
(第二部) 講師：危機管理教育研究所・代表 国崎信江氏
演題：東日本大震災から学ぶ防災対策

「大分県労福協」とは、

勤労者福祉を増進するための事業を行うことを目的とした組織。

「労福協事業」とは、

調査・研究・啓発、政策・制度要求の実現、講演会・研修会、教育・文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア等に関する事業。

ひろく、共感を呼ぶ・福祉運動の実現をどれだけできるかが大切。

労福協運動は、そこから始まる。

大分県の

県木・県花



ブンゴウメ

県鳥



メジロ



一般社団法人 大分県労働者福祉協議会

〒870-0035 大分市中央町4丁目2番5号 全労済ソレイユ6階

☎097-533-1106 ☎097-533-1174

ホームページ
<http://oita.rofuku.net/>